

5. ボディ

5-1	ボディ外装／本体	5-2
5-2	ボディ内装	5-9
5-3	ボディ機能装備品	5-12

■概要

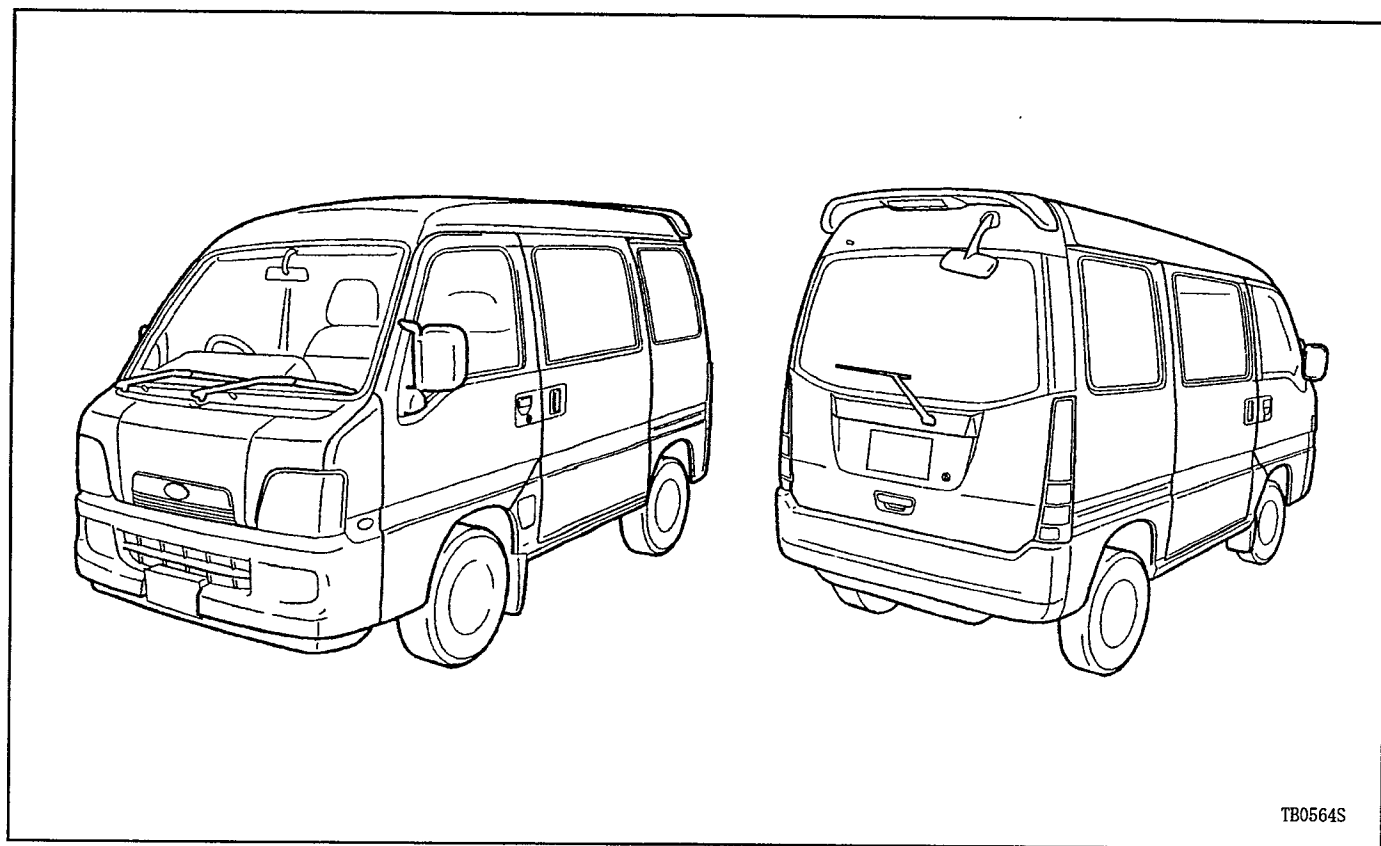
- ・ヘッドランプ変更、グリルの追加などフロントマスクを全面的にリフレッシュし、全車統一の基本意匠を採用しました。フロントマスク変更に伴ない、クラシック調意匠を廃止しました。
- ・リヤコンビネーションランプなどと併せてリヤゲート廻りの外観意匠を変更しました。（ワゴン、一般バン）
- ・荷役性の向上を図る為、バックパネルの意匠を変更し、荷台有効長拡張タイプランバーステーをオプション設定しました。また格納式ゲートチェーンをJ A車に採用しました。

■構造

[1] ボディパネル

(1) フロントパネル、サイドパネル

ヘッドランプの変更、グリルの追加などによりフロントパネルおよびサイドパネルの形状を変更し、サイドパネルにサイドターンランプを設置しました。



(2) リヤクォーターパネル

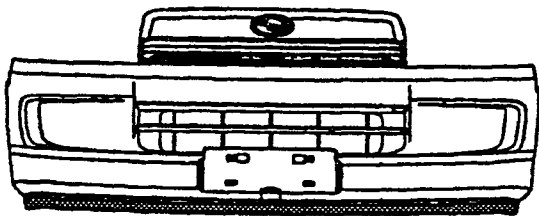
リヤコンビネーションランプ変更に伴いリヤクォーターパネルの形状を変更しました。（ワゴン、バン一般車）

[2] ボディ外装品

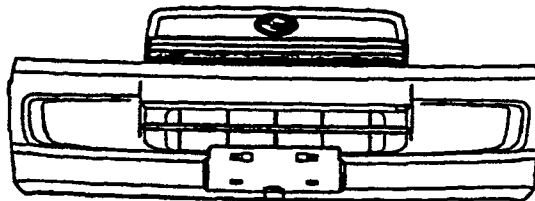
(1) フロント廻り

1. フロントバンパー、フロントグリル

- ・フロントバンパーのナンバー取付け位置を下方に移動し、グリルを追加などにより新製しました。
- ・フロントグリルをバンパー上部に新設し、グリル内にスバルエンブレムを配置しました。



エアダム付（トラック、バン、ワゴン）



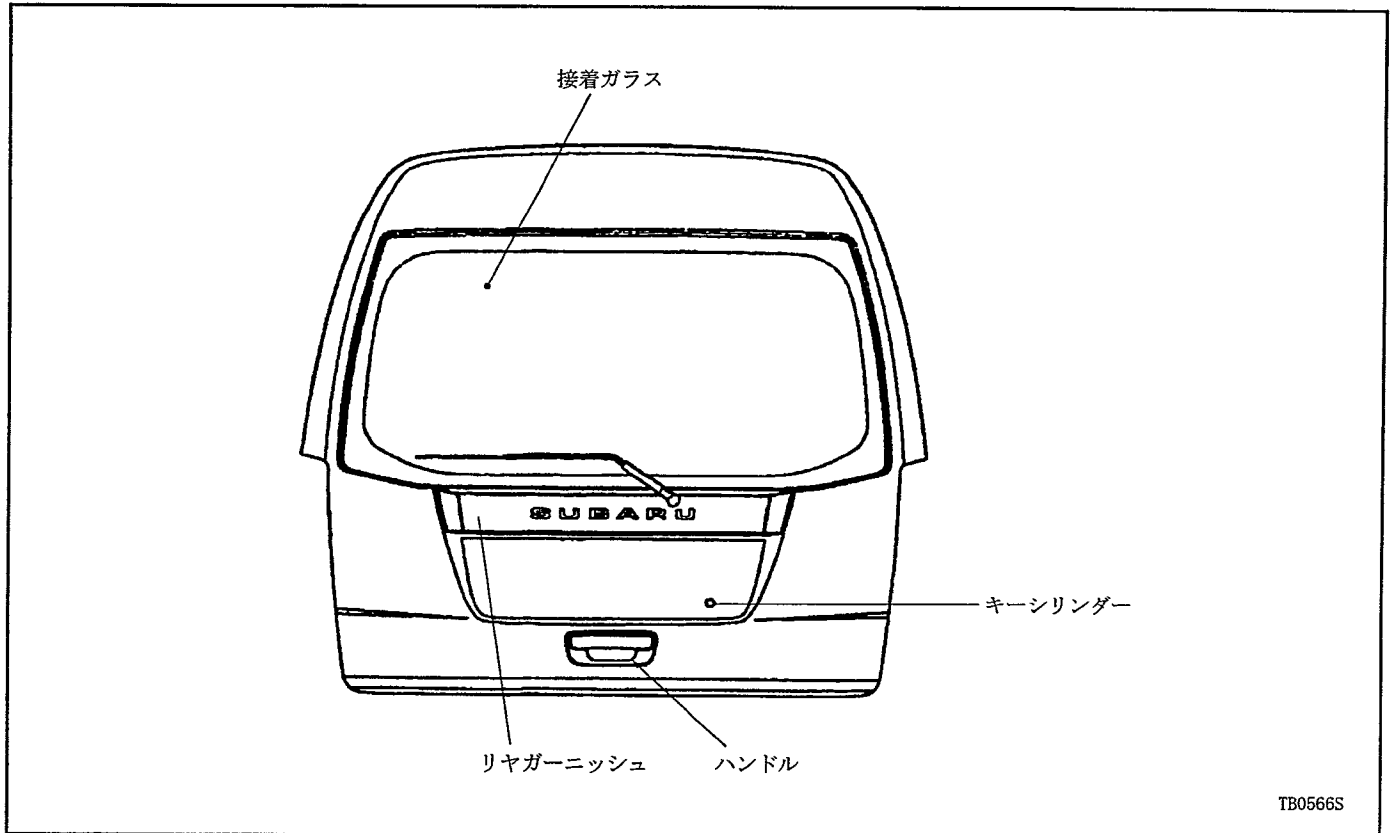
エアダムなし（トラック）

TB0565S

(2) リヤまわり

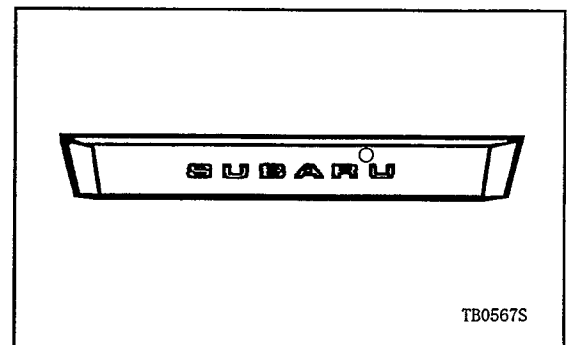
1. リヤゲート

- ・後面の外観意匠を変更し、バン、ワゴンのリヤゲートパネルを統一しました。
- ・リヤゲートガラスは接着方式に変更しました。
- ・ハンドルの取付け位置変更をしました。
- ・リヤゲートハンドルは、後面衝突時のリヤゲート誤開放防止強化を図るため、ハンドルからラッチ間をケーブル結合方式に変更し、ロック機構を全面変更しました。
- ・キーシリンダーの取付け位置を変更しました。



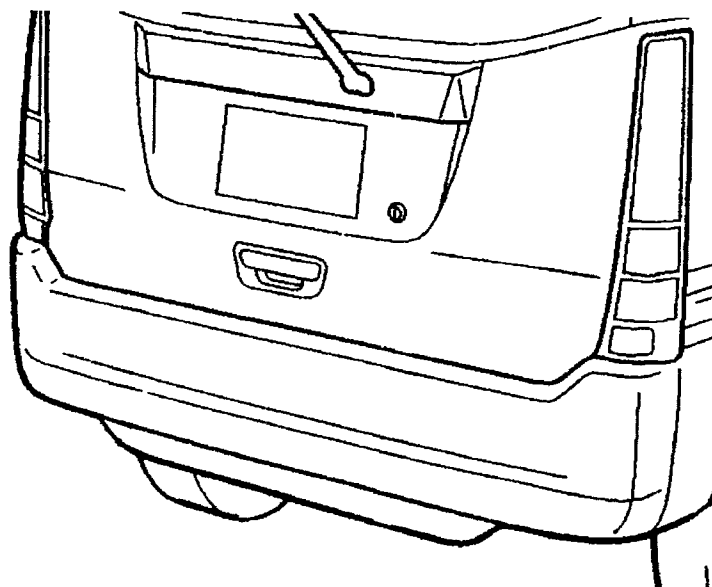
2. リヤゲートガーニッシュ

リヤゲートガラスの下にスバルマーク入りの大型ガーニッシュを設けました。



3. リヤバンパー

リヤゲート、リヤコンビネーションランプ新設に伴ないリヤバンパー形状を変更しました。

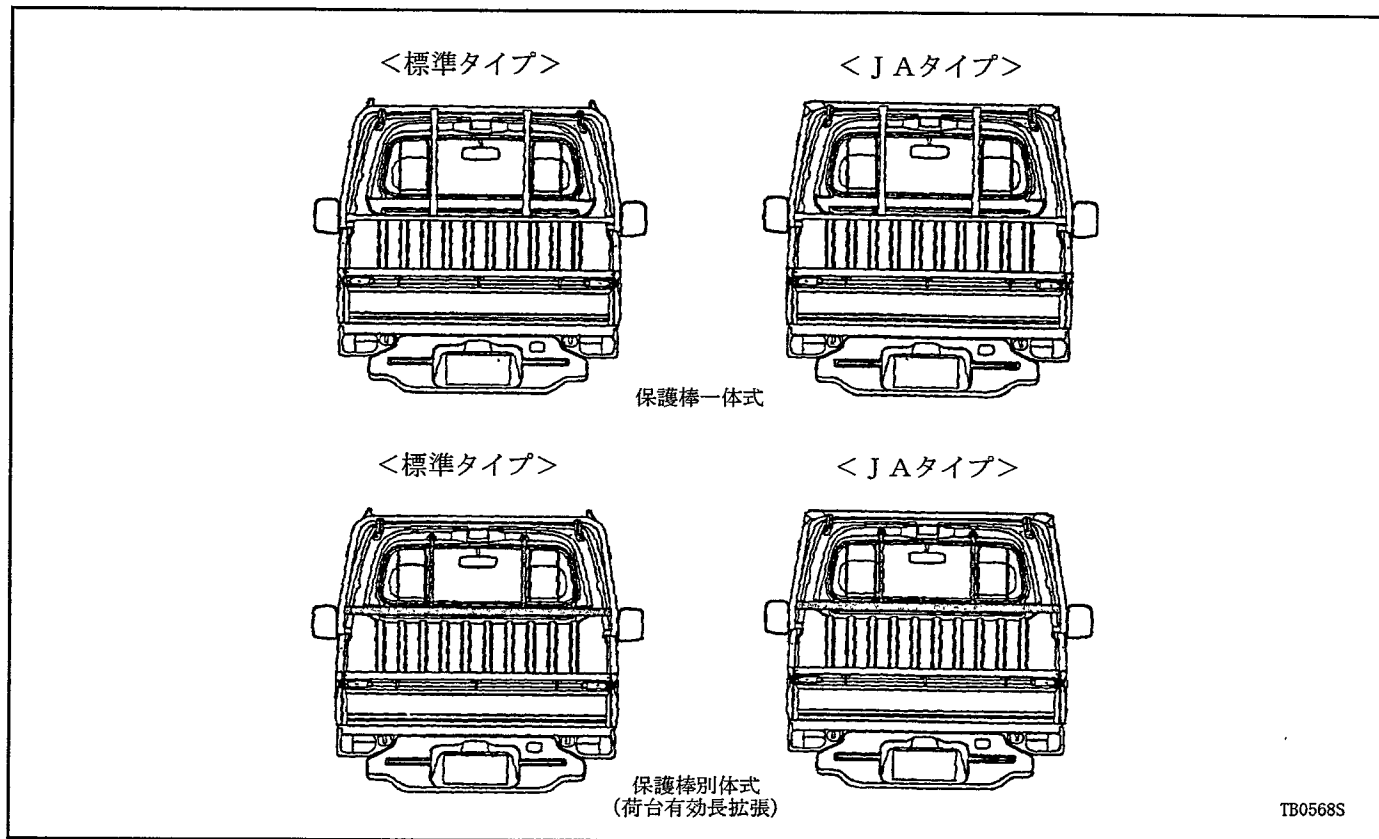


TB0588S

5

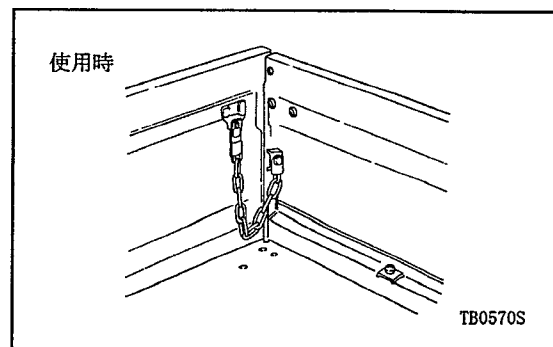
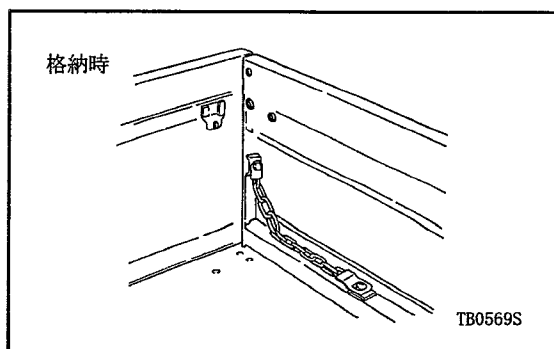
4. ランバーステア（トラック）

- 荷役性の向上を図る為、バックパネルの意匠を変更し、保護棒別体式の荷台有効長拡張タイプランバーステアをオプション設定しました。



5. ゲートチェーン

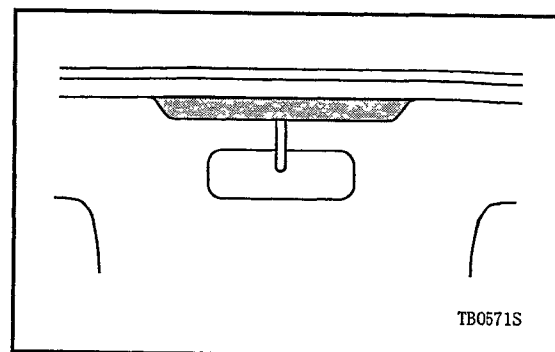
- 格納式のゲートチェーンを採用しました。
- ゲートチェーンを使用しないときは、ゲート内に格納（専用フックプレートに結合）します。
- 格納式ゲートチェーンでは水平開きのみとなります。（45° 開きはできません。）



(3) ウィンドウまわり

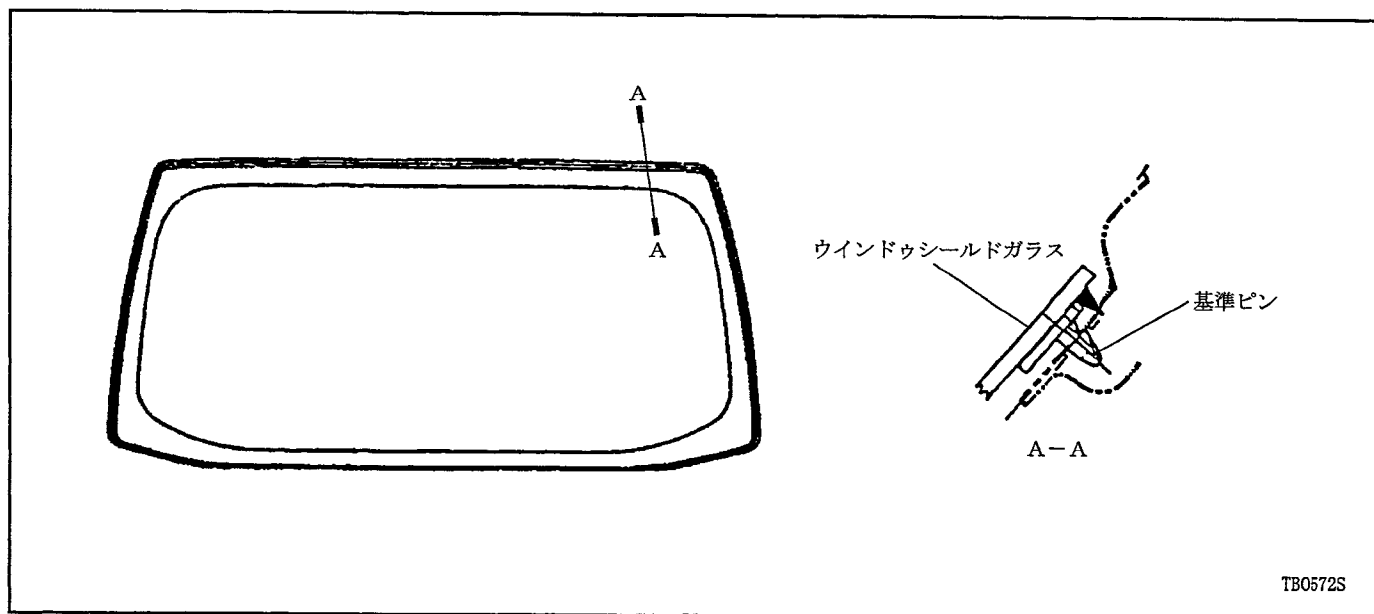
1. フロントガラス

サンバイザーの変更に伴ない、フロントガラス上面のルームミラー裏に遮光セラミックを追加しました。(全車)



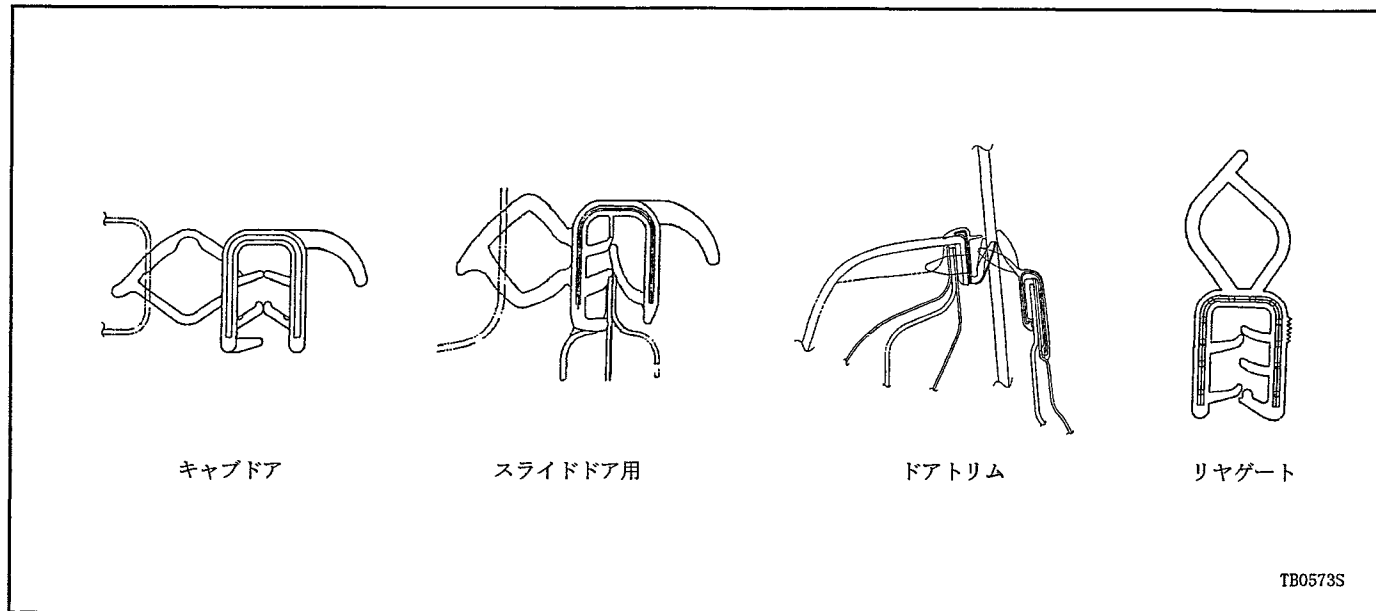
2. リヤゲートガラス

- ・リヤガラスの車体への固定を接着方式とし、組付け精度の向上を図りました。
- ・リヤゲートとのつながりのあるすっきりとした外観意匠としました。



3. ウェザーストリップ

- ・ルーフトリム一体成形、フロントセンターピラートリム追加に伴ない、トリムとの一体感を図るため、インナーウェザーストリップをドアトリム取付けに変更しました。（バンディアス、ワゴン）
- ・ルーフトリム一体成形、フロントセンターピラートリム追加に伴ない、キャブドアおよびスライドドアのウェザーストリップの形状変更をしました。（バンディアス、ワゴン）
- ・リヤゲート変更に伴ない、リヤゲートウェザーストリップの断面形状を変更しました。



TB0573S

(4) オーナーメント・マーク類

1. オーナーメント

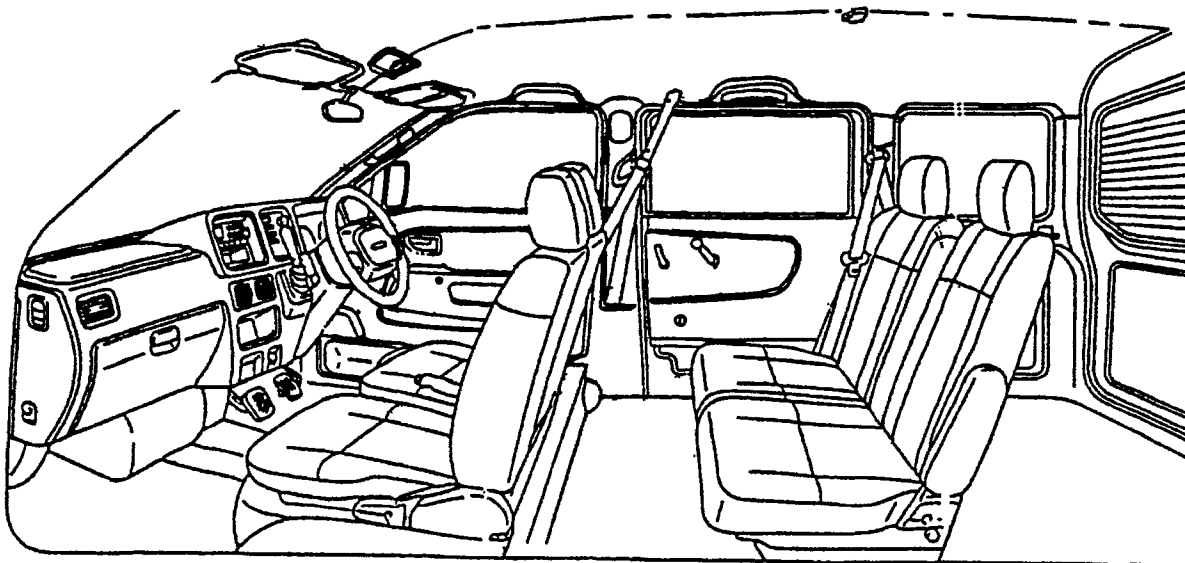
フロントグリルにスバルエンブレムを配置しました。

2. マーク類

リヤゲートにワゴン車専用ステッカーを追加しました。

■概要

- ・内装質感の向上を図るため、フロント、センターピラートリムを追加し、ルーフトリムを一体成形としました。
(バンディアス、ワゴン) 併せてヘッドクリアランスを広げました。
- ・サンバイザーの変更(全車)、ロック付サンバイザーの採用(バンディアス、ワゴン) など内装質感と利便性の向上を図りました。



TB0574S

■仕様

<室内寸法の変更>

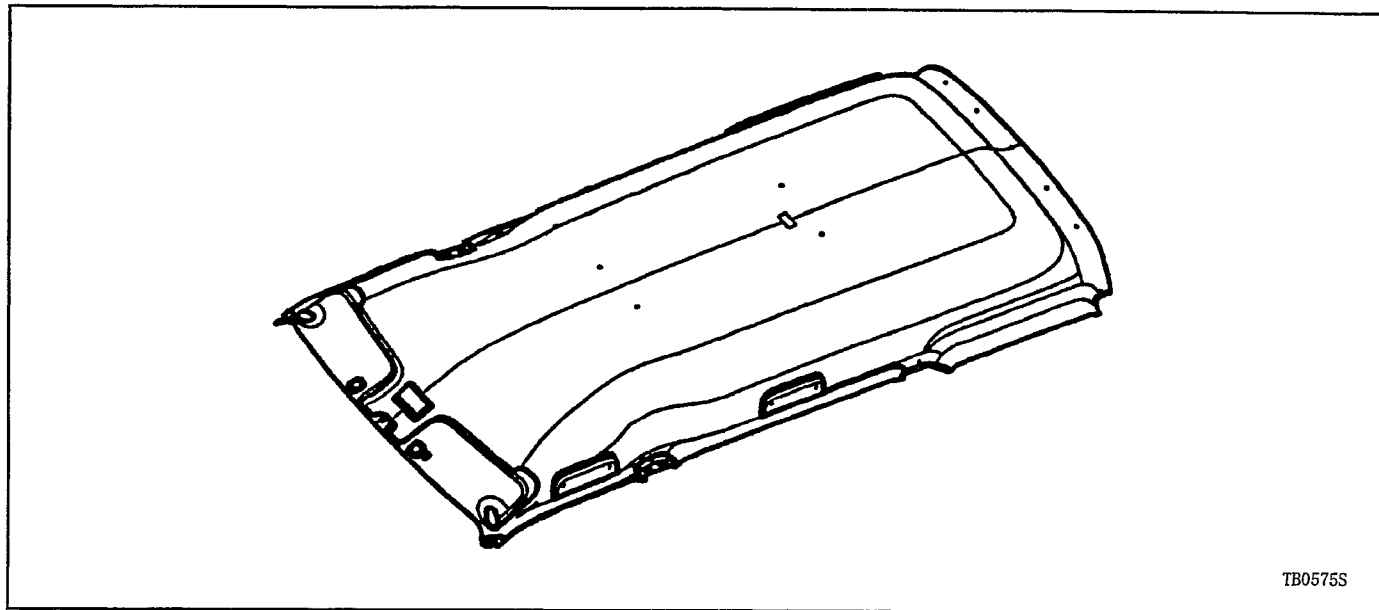
				旧		新	
項目				ディアス、バン	ワゴン	バン	ワゴン、ディアス
客室	長さ				1 8 4 0		1 8 4 0
	幅				1 3 2 0		1 3 2 5
	高さ				1 3 9 0		1 3 9 0
荷室	積載設備を 最大に使用	長さ	左右	1 8 2 0		1 8 2 0	
		幅		1 3 2 0		1 3 2 0	
		高さ		1 2 2 0		1 2 2 0	
	乗車設備を 最大に使用	長さ		9 7 5		9 7 5	
		幅		1 3 4 0		1 3 4 0	
		高さ		1 2 0 0		1 2 0 0	
ヘッド クリアランス	前席	左側		1 0 8 0	←	1 0 8 5	←
		右側		1 0 8 0	←	1 0 8 5	←
	後席	左側		1 2 0 5	1 2 4 5	1 2 0 5	1 2 4 5
		右側		1 2 0 5	1 2 4 5	1 2 0 5	1 2 4 5

■構造

[1] トリム

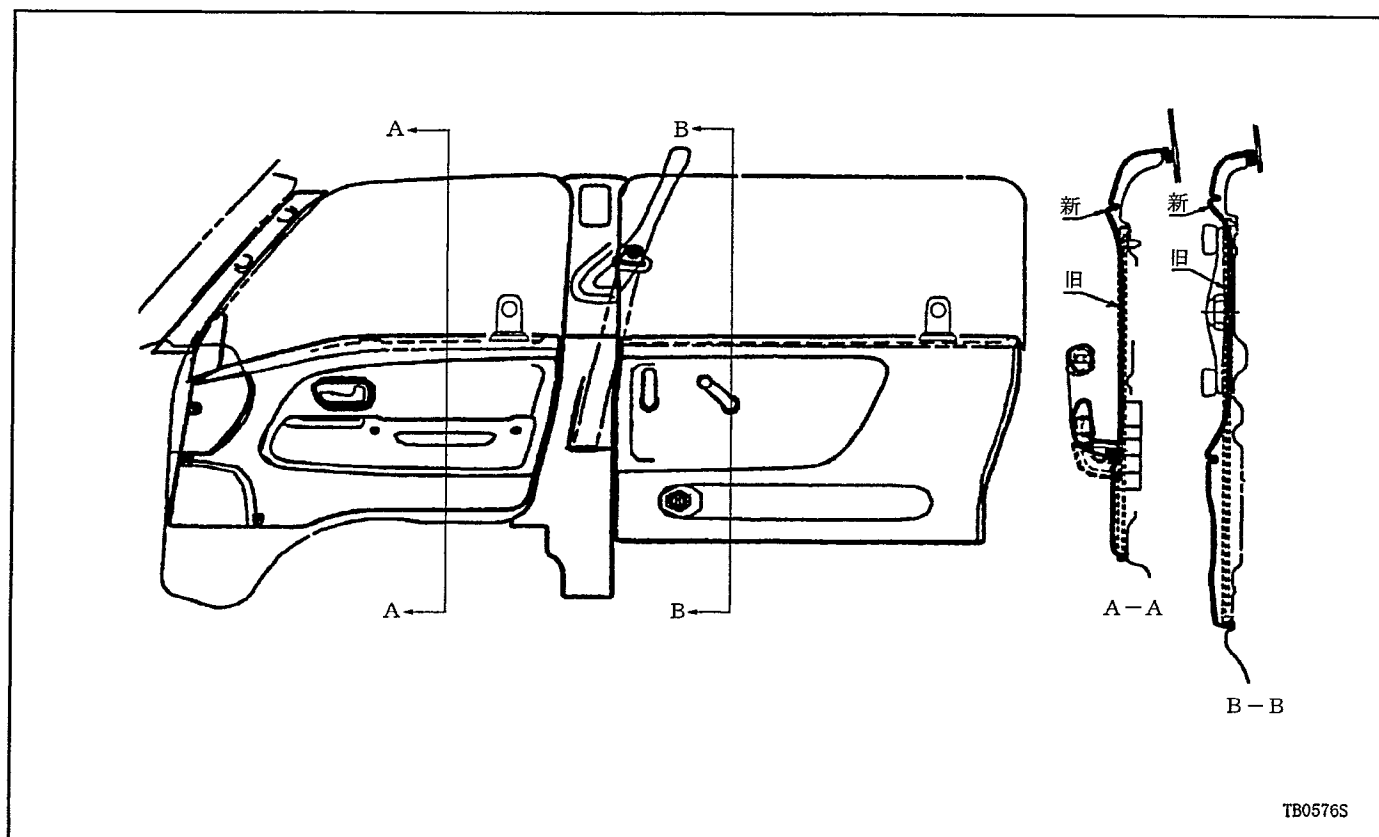
(1) ルーフトリム

ルーフトリムを一体成形化しました。一体成形により前席ヘッドクリアランスを広げました。



(2) キャブドア、スライドドア、およびピラー

- ・ドアトリムを一体成形とし、ピラートリムを追加しました。(バンディアス、ワゴン)
- ・ドアトリム一体成形に伴ない、ロックノブおよびノブカバーの形状変更をしました。(バンディアス、ワゴン)
- ・フロントおよびセンターのピラートリムを追加し、室内の前部トリム化を図りました。(バンディアス、ワゴン)



[2] シート

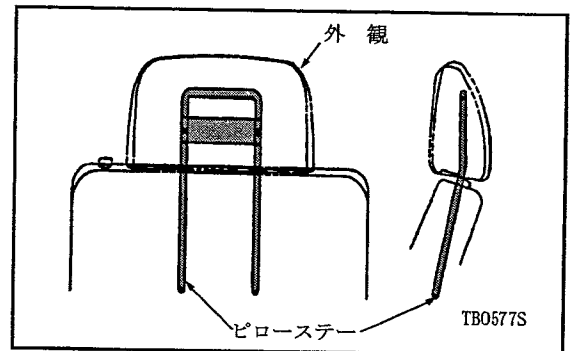
(1) フロント&リヤシート

1. シート表皮

- ・質感、リサイクル性向上のため、塩ビ材からトリコットおよびファブリックの材質変更しました。（赤帽車を除く）
- ・質感向上のためシボパターンを変更しました。（赤帽車）

2. 後席ピロー

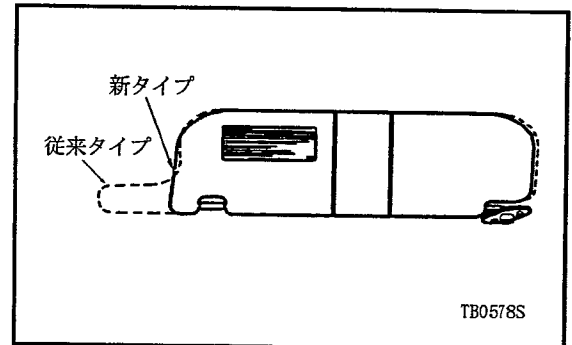
ピローステーブラケット形状を変更しました。（バンディアス、ワゴン）



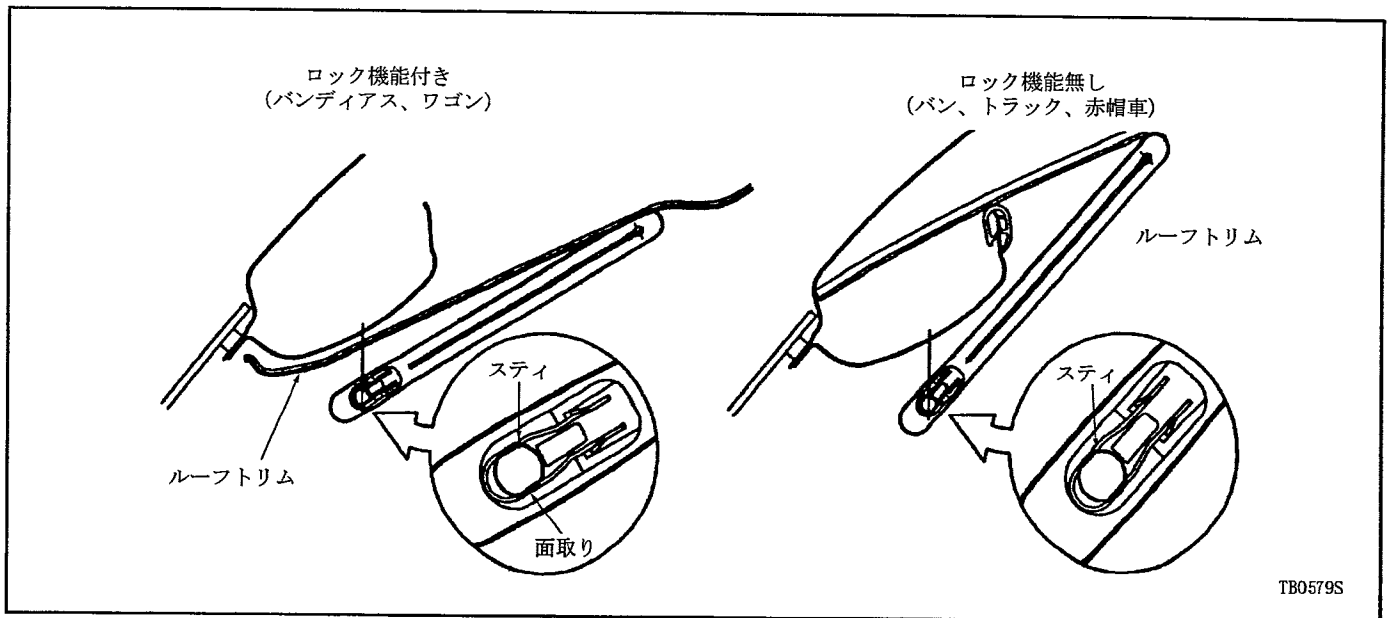
[3] インテリアアタッチメント

(1) サンバイザー

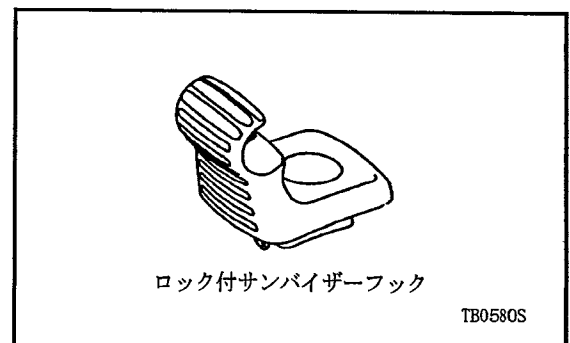
1. サンバイザーの形状変更をしました。（全車）



2. 操作感の向上を図るため、ロック機能付きを採用しました。（バンディアス、ワゴン）



3. 一体成形ルーフトリム化に伴ないサンバイザーフックを追加設定し、識別のため外観意匠を変更しました。



■概要

- ・利便性向上のため、ハザード&ルームランプアンサーバック機能付電波式キーレスエントリーシステムを採用しました。（ワゴン）
- ・電波式キーレス送信機とキープレートを一体化しました。
- ・後面衝突時のリヤゲート誤開放防止強化のため、ロックシステムを変更しました。（バン、ワゴン）

■構造・作動

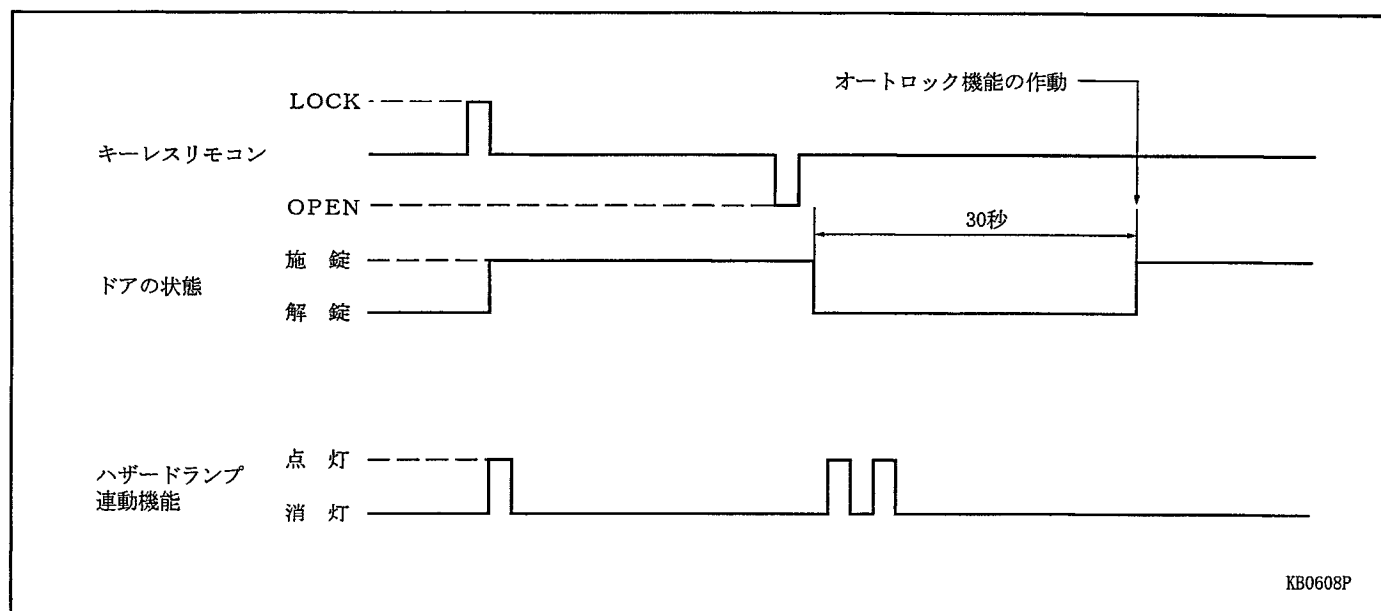
[1] ドアロック

(1) アンサーバック機能付電波式キーレスエントリーシステム

- ・キーレスリモコンのボタン操作により、リヤゲートを含む全てのドアが施錠／解錠されます。
- ・電波の伝播性により指向性は広く、送信機を受信アンテナに向けなくても作動します。ボディから1mの全周で操作が可能です。但し、周囲の状況により、作動範囲は変化します。
- ・受信アンテナはコントロールユニットに内蔵しています。
- ・送信機には、コイン型リチウム電池（CR1620相当）を使用しています。

1. キーレスリモコン取扱上の注意

- 長時間（数分間以上）水に濡らしたり、洗濯機にかけたりしないこと。
- 高所から落下させたり、ぶつけたりしないこと。
- 高温（60℃以上）になる場所に長時間放置しないこと。
- リモコンによりドアロックを施錠・解錠した場合は、必ずその状態を目視等で確認すること。



1. キーレスリモコンによるロック機構

- 登録コネクタが分離され、ドアが閉状態の時、登録リモコンの「LOCK」ボタンを押すと、ドアが施錠されます。
- ルームランプがルームランプ連動機能により点灯しているときには、この施錠作動の後ルームランプが消灯します。
- エンジンスイッチにキーが挿入されているとき、またはいずれかのドアが開状態のときは、キーレスリモコンによるロック機能は作動しません。

2. キーレスリモコンによるアンロック機能

- 登録コネクタが分離され、ドア閉状態のとき、登録リモコンの「OPEN」ボタンを押すと、ドアが解錠されます。
- このとき、ルームランプスイッチが「DOOR」の位置にあるときは、ルームランプが15秒点灯し、徐々に消灯します。このルームランプ点灯中に、エンジンスイッチにキーを押し込むと、この時から徐々に消灯します。

- 3) エンジンスイッチにキーが挿入されている、またはいずれかのドアが開状態では、キーレスリモコンによるアンロック機能は作動しません。

3. オートロック機能

- 1) キーレスリモコンによるアンロック機能でドアが開錠した後、30秒間ドアが開状態にならない場合、ドアは施錠されます。
- 2) キーレスリモコンによるアンロック機能でドアが開錠した後、さらに登録キーレスリモコンの「OPEN」ボタンを押すと、30秒タイマーが更新されます。
- 3) この30秒間に次の操作を行なった場合、オートロック機能は作動しません。
- ・集中ドアロック機能を作動させる。
 - ・キーレスリモコンによるロック機能を作動させる。
 - ・登録コネクターを接続する。
 - ・エンジンスイッチにキーを挿し込む。

4. ハザードランプ連動機能

- 1) キーレスリモコン操作の送受信が確認できるように、キーレスエントリーシステムにハザードランプ連動しました。
- 2) キーレスリモコンによりドアをロックするとハザードランプが1回点滅します。アンロックすると2回点滅します。

5. ルームランプ連動機能

- 1) ルームランプスイッチが「DOOR」位置にあるとき、次の条件によりルームランプが点灯します。それぞれの点灯時間が過ぎると、ルームランプが徐々に消灯します。
- ・ドアまたはリヤゲートを開けた状態から3秒間ルームランプが点灯し、徐々に消灯します。
 - ・ドア閉状態で登録キーレスリモコンの「OPEN」ボタンを押すと、その時からさらに15秒間ルームランプが点灯します。
- 2) ルームランプ連動機能によりルームランプが点灯しているとき、次の条件によりルームランプが消灯します。
- ルームランプ点灯中、登録リモコンキーの「LOCK」ボタンを押してロック操作すると、ルームランプが消灯します。ルームランプ点灯中、エンジンスイッチにキーを挿し込む、または登録コネクターを接続するとルームランプが徐々に消灯します。

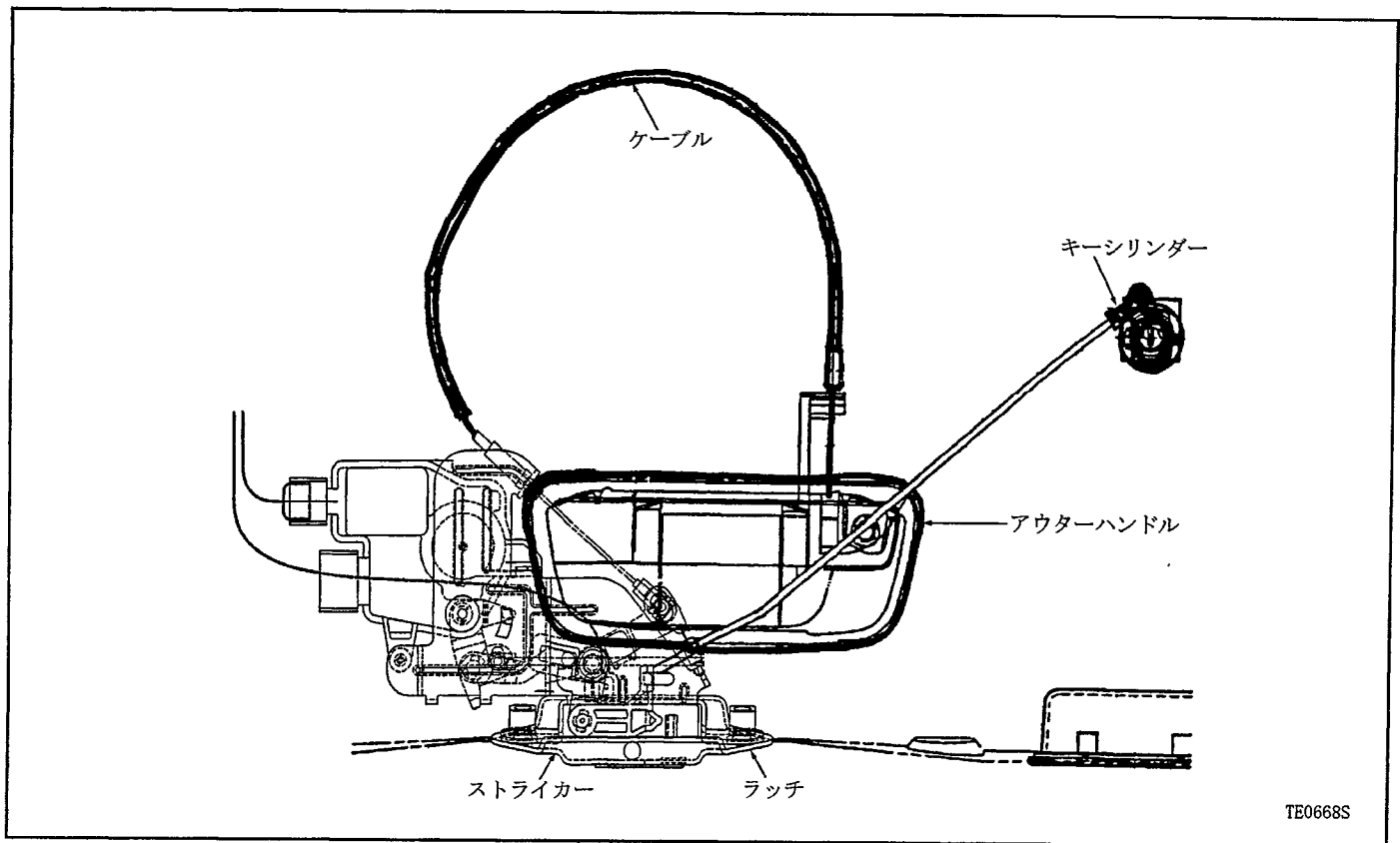
6. 不正キーレスリモコン防御機能

不正なキーレスリモコン信号による解錠を困難にするために、防御機能を備えています。

- 1) 施錠中の車両に、10秒間に10回以上の登録されていないキーレスリモコンのボタンを押す、または不正コードを発信すると10分間防御状態に入ります。
- 2) 防御状態中の車両にキーレスリモコンのボタンを押すと、登録されていないキーレスリモコンでも、登録キーレスリモコンでもロック、アンロック動作はしません。
- 3) 防御状態（不正キーレスリモコン防御機能）の解除
- 防御状態に入ってから10分間経過、またはキーを挿し込み運転席ドアを解錠すると防御状態が解除されます。

(2) リヤゲートロック

リヤゲート新設に伴ない、リヤゲートハンドルとロックシステムを変更しました。



■構造

ハンドル、ラッチ、ケーブル、キーシリンダーで構成され、従来ロットで結合していたハンドルとラッチをケーブルで接続する事により、追突時の誤開放を未然に防ぎます。

■作動

- ロックする（施錠）

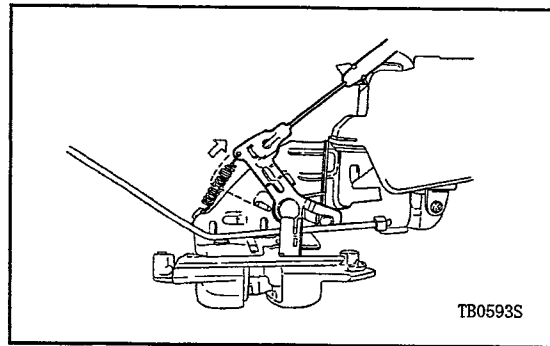
フロントドアロック（運転席）を閉じるまたはリヤゲートキーシリンダーにてロックを行う事によりリヤゲートロックアクチュエーターが連動し、アウターハンドルリンケージを作動できないよう勘合部分を外す。

- アンロックする（解除）

フロントドアロック（運転席）を閉じるまたはリヤゲートキーシリンダーにてロックを行う事によりリヤゲートロックアクチュエーターが連動し、アウターハンドルリンケージを勘合させ、アウターハンドルに合わせラッチを作動させる。

- リヤゲートを開く場合

アウターハンドルを引上げるとハンドルに取付けられたケーブルが引出される、ケーブルの反対側はラッチに組み込まれたリンクに接続されており、ケーブルが引かれた事によりリンクが移動しストライカーを開放する方向にロックを回転させストライカーが完全に開放されるとゲートを開くことができる。



- 追突された場合

リヤゲートに大きなダメージを受ける追突事故などで、アウターパネルが変形した場合アウターハンドルとラッチ間の距離が変化する、このような場合に、ケーブルが自在に変形するため距離変化に対応し誤開放が未然に防止される。

(3)アウターミラー

フロントパネル変更に伴ない、アウターミラーステーを新設しました。（赤帽車）

